

卒前集中講義

責任者	氏名	伊藤 敬	内線	7037
	教室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日の午前中		

対象年次・学期	6年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	臨床総括講義8.5単位の一部
英語名	Pre-graduate intensive course		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい： これまでの講義や実習で修得してきた医学的知識や思考力、判断力を整理・統合し、より実践に即した臨床的アプローチができるように、それぞれの臨床テーマについて各科横断的に講義を行う。

方法： あらかじめ実施したアンケートにおいて学生の希望が多かった疾患や症候について、関連する診療科が協力・分担して講義する。

到達目標： 症候から診断・治療へのアプローチができる。一つの疾患を例えば内科的・外科的観点など異なった視点から考察することができる。診療科間の連携の有用性を理解できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

次ページ予定表のとおり。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
担当各科が提示する			

4. 成績評価の方法・基準

授業への参加状況など総合的に合格を判定する。臨床総括講義の単位に含まれる。

5. 教員名

次ページ予定表のとおり

6. 備考（準備学習等）

講義テーマに関連する項目について、これまで学習した各論の教科書や実習ノートを復習し、疑問点等を整理しておくこと。

卒前集中講義 (6年前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	担当講座等	担当教員	教室
6	28	月	1	リウマチ性疾患・変形性関節症/化膿性関節炎	内科1、整形外科	○川上 純、進藤裕幸	ホソノ 会館1階
			2	産業保健	公衆衛生	青柳 潔	
			3	老人保健	公衆衛生	青柳 潔	
			4				
6	29	火	1	排尿機能と排尿障害	泌尿器科	酒井英樹	ホソノ 会館1階
			2	月経異常、正常異常妊娠	産婦人科	増崎英明	
			3	先天性心疾患	循環器内科	前村浩二	
			4	脳腫瘍	脳神経外科	松尾孝之	
6	30	水	1	心電図の読み方	循環器内科	前村浩二	ホソノ 会館1階
			2	胸痛	循環器内科、内科2	○前村浩二、河野 茂	
			3	運動麻痺・筋力低下	整形外科、脳外科、感染分子(脳神経系)	○進藤裕幸、永田泉、中村龍文	
			4				
7	1	木	1	眼底所見(糖尿病を含む)	眼科	北岡 隆	ホソノ 会館1階
			2	失神	総合診療科	大園 恵幸	
			3	めまい	耳鼻科、脳外科	○高橋晴雄、陶山一彦	
			4	不整脈	循環器内科	前村浩二	
7	6	火	1	先天性疾患と遺伝性疾患	小児科、産婦人科	○森内浩幸、増崎英明	ホソノ 会館1階
			2				
			3	救急蘇生、小児救急	麻酔科、小児科	○澄川耕二、森内浩幸	
			4				
7	7	水	1	肝臓・肝移植	外科2	兼松隆之	ホソノ 会館1階
			2	糖尿病の治療	内科1	山崎浩則	
			3	躁うつ病	精神神経科	小澤寛樹	
			4	創傷外科と慢性創傷、再生医療	形成外科	平野明喜	
7	8	木	1	膠原病-血管炎症候群を中心として 膠原病の皮膚病変	内科1、皮膚科	○川上 純、宇谷厚志	ホソノ 会館1階
			2				
			3	呼吸困難	循環器内科、耳鼻科、内科2	○前村浩二、高橋晴雄、河野 茂	
			4				
7	9	金	1	肺癌・肺移植	外科1	永安 武	ホソノ 会館1階
			2	腎不全・蛋白尿	内科2	古巢 朗	
			3	感染症の診断と治療	内科2、熱研内科	○河野 茂、有吉紅也	
			4				
7	12	月	1	胸部X線写真の見方	放射線科	上谷雅孝	ホソノ 会館1階
			2	腹部CT、MRIの読影			
			3	消化管癌および炎症性腸疾患	消化器内科	竹島史直	
			4	腹痛	外科1	安武 亨	
7	13	火	1	救急の輸液管理、ショック、電解質異常	麻酔科、内科2	○澄川耕二、古巢 朗	ホソノ 会館1階
			2				
			3	小児に特徴的な common diseases	小児科	森内浩幸	
			4	先天性心疾患	心臓血管外科	江石清行	
7	14	水	1	神経疾患の症候と診断法・けいれん	内科1	本村政勝	ホソノ 会館1階
			2	医療倫理、呼吸器腫瘍(肺癌以外)	内科2	中富克巳	
			3	白血病	原研内科	宮崎泰司	
			4	貧血	原研内科	塚崎邦弘	
7	15	木	1	検査値の見方	臨床検査	○上平 憲、長井一浩	ホソノ 会館1階
			2	輸血医療			
			3	肝炎、肝硬変	消化器内科	中尾一彦	

○はオーガナイザー

高次臨床実習

責任者	氏名	大園 恵幸	内線	7591
	教室	総合診療学	e-mail	oozono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:30～18:30		

対象年次・学期	6年・前期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	18単位
英語名	Clinical Clerkship II (Elective Clerkship courses)		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことを主旨とする。5年次の臨床実習と比較し、より診療参加型の実習となる。

以下の診療科より3科を選択し、1ターム4週間の実習を3ターム行なう。

第1内科（神経、内分泌・代謝、リウマチ・膠原病）、第2内科（呼吸器、腎臓）、循環器内科、消化器内科、原研内科、熱研内科、総合診療科、離島・地域医療（五島中央病院・上五島病院、中対馬病院、対馬いずはら病院）、精神神経科、小児科、第1外科、第2外科、整形外科、皮膚科・アレルギー科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、産科婦人科、麻酔科、救急部、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、法医学、病理部、ライデン大学、ビュルツブルグ大学、プサン大学、ハーリム大学、市民病院、原爆病院、済生会病院

2. 授業内容（講義・実習項目）

選択科により異なる。高次臨床実習要項を参照。

3. 教科書、参考書等

適宜。

4. 成績評価の方法・基準

各タームで、出席状況、実習状況等を総合し、評価表に基づいて評価する。3ターム全ての合格を以て高次臨床実習の合格とする。

5. 教員名

高次臨床実習要項を参照。

医学英語

責任者	氏名	伊藤 敬	内線	7037
	教室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	1～6年 前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	選択	単位数	前期1単位、後期1単位
英語名	English for Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読と精読のバランスを意識した授業を行う。また、日本語と英語の表現方法の違いを学習する。特に学生が犯しやすい誤りとして、文法的な誤りの他、コロケーション(連語)の間違いや日英発想の違いによる誤り等も視野に入れて講義を行う。

この授業を通して、英語の論の展開の仕方、さらには、英語を母語とする話者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。

2. 授業内容(講義・実習項目)

授業では、さらに演習の要素も取り入れ、日本語を英語らしい表現で書けるように訓練するとともに、リスニング、及び、スピーキングスキルの訓練も併せて行う。また、この目的にそった英訳課題を出す。実際自分で英文を書くことによって、学生は英語の表現能力を高めてほしい。

3. 教科書、参考書等

いろいろなジャーナルの論文を選ぶ予定である。

その他、適宜、担当教官より指示する。

なお、前期の小笠原の授業では、プリント教材とテキストを利用する。テキストは、1回目の授業で紹介し、購入していただく(税込み1890円)。

4. 成績評価の方法・基準

テストとレポート、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。

5. 教員名

非常勤 : 小笠原 信司 (大学教育機能開発センター)

非常勤 : 西原 俊明 (大学教育機能開発センター)

6. 備考(準備学習等)

定員20名、A0入試国際枠学生を優先する。

積極的に、そして真面目に授業に出ること。出席重視。

授業計画は「1年次」参照。

医学英語

責任者	氏名	伊藤 敬	内線	7037
	教室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	1～6年 後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	選択	単位数	前期1単位、後期1単位
英語名	English for Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読を意識した授業を行う。また、日本語と英語の表現方法の違いを学習する。特に学生が犯しやすい誤りとして、文法的な誤りの他、コロケーション(連語)の間違いや日英発想の違いによる誤り等も視野に入れて講義を行う。

この授業を通して、英語の論の展開の仕方、さらには、英語を母語とする話者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。

2. 授業内容（講義・実習項目）

授業では、演習的要素も取り入れ、リスニング、及び、スピーキングスキルの訓練を行う。また、医学に関わる英文記事を読み、短時間にまとめて英語で発表する訓練を併せて行う。

3. 教科書、参考書等

いろいろなジャーナルの論文を選ぶ予定である。その他、適宜、指示する。
プリント教材とテキストを利用する。

4. 成績評価の方法・基準

テストと課題、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。
テスト(70%)、課題・プレゼンテーション(20%)、授業への積極的参加(10%)

5. 教員名

非常勤 : 西原 俊明 (大学教育機能開発センター)

6. 備考（準備学習等）

定員20名、A0入試国際枠学生を優先する。
積極的に、そして真面目に授業に出ること。演習形式なので、出席を重視する。
授業計画は「1年次」参照。